



串木野中学校教頭通信

Kyo to correspondence

～当たり前のことを当たり前～

第27号

令和5年10月17日(火)

いちき串木野市立串木野中学校教頭
文責 長岡

校内合唱コンクール

10月14日(土)に『校内合唱コンクール』が行われました。文化部長の「有満 羽菜」さん、副部長の「諏訪 琴音」さんを中心に、各学級の文化部が準備を進めてくれました。

審査の先生からもありましたが、各学級のカラーがそれぞれ出ていましたね。体育大会に続き、今回も串中魂が満開に咲き誇ったのではないのでしょうか。



春祭に向けて頑張れ！

合唱コンクールに向けて頑張ってきましたが、終わって気が抜けていないのでしょうか。

これまでの人生の中で、子供たちも一つや二つ、何かに一生懸命打ち込んだ経験があると思います。部活動だとか趣味だとか、または遊びもそうですし、あるいは家の手伝いひとつにしてもそうだと思います。他の人から見れば「そんなことぐらいで」と思えるような小さなことでも、自分の持てる力をすべて出しきって物事をやり遂げた後は、いったいどんな気分になるだろう…一生懸命に頑張ったのだから肉体的に疲れるのは当たり前ですが、精神的にはどうでしょう…きっと、肉体的な疲れ以上に、それを打ち消すに十分な、何ともいえない満足感や充実感が、心の中に広がっていくと思います。

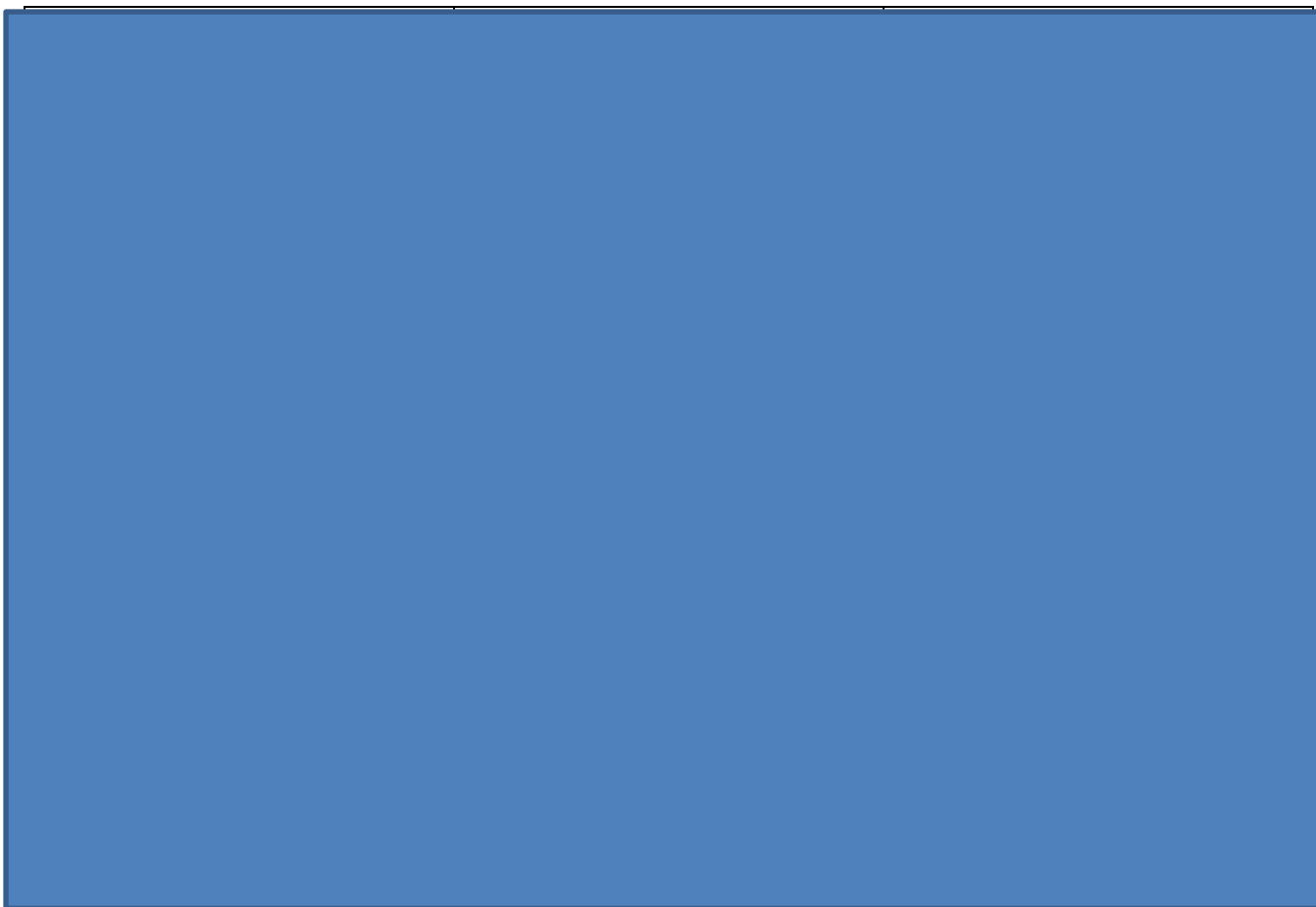
この世の中、ある意味では結果だけを求め、評価しがちです。でも、少なくとも学校という世界の中にあっては、その過程で積み重ねられる“ひたむきな努力”、“一生懸命やっている姿”が見過ごされることはありません。努力する姿は、どこかで必ず認められるものだし、報われるものです…。

もちろん、そうなることを期待して努力するなどということは、本来の意味からすればおかしいと感じますが、心の支え、励みとして常に持ち、『苦あれば楽あり』の心意気で何事にも取り組んでほしいと思います。

学校というところは、そういった経験を積み重ねつつ、自分を磨いて行くところ。そういう場所なんだから…。

各学級の合唱を紹介します。

※ 県域ドメインに入っていないと見られないかもしれません。



最優秀賞 3年1組
優秀賞 2年1組（春の祭典出場権利） 1年3組

伴奏者賞	1年	さん	2年	さん
	3年	さん		
指揮者賞	1年	さん	2年	さん
	3年	さん		

保護者の方々へのお願い

個人情報流出をさけるため、学校行事の写真や動画、音声等を動画サイトやSNS等のインターネット上に掲載しないようお願いいたします。